

向こう 1 か月の天候の見通し

九州北部地方（9 月 16 日～10 月 15 日）

福岡管区気象台

予報のポイント

- 天気は数日の周期で変わりますが、期間のはじめを中心に湿った空気や前線の影響を受けやすく、向こう 1 か月の降水量は多く、日照時間は平年並か平年より少ない見込みです。
- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の気温は平年並か高い見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
九州北部地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	少 10 並 30 多 60% 多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 か月） 	降水量（1 か月） 	日照時間（1 か月）
	低い確率 (%) 50 40 平年並か 40 50 高い確率 (%)	少ない確率 (%) 50 40 平年並か 40 50 多い確率 (%)	少ない確率 (%) 50 40 平年並か 40 50 多い確率 (%)

週別の天候

(1 週目) 9/16～22	(2 週目) 9/23～29	(3～4 週目) 9/30～10/13
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、台風第 18 号や前線の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雨が降るでしょう。なお、17 日頃は台風第 18 号の影響により大雨や大荒れとなる見込みです。	天気は数日の周期で変わるでしょう。	天気は数日の周期で変わるでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

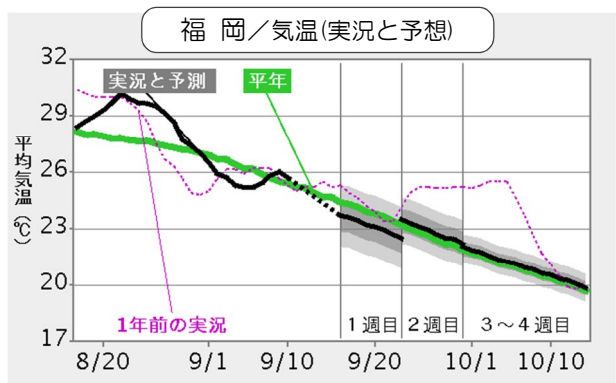
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 9/16~22	平均気温（2 週目） 9/23~29	平均気温（3~4 週目） 9/30~10/13
九州北部地方	低 50 並 30 高 20% 低い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1週目） 	平均気温（2週目） 	平均気温（3~4週目）
	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 7 平年並も 40 以上 (%)	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 7 平年並も 40 以上 (%)	低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 7 平年並も 40 以上 (%)

ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、気象庁ホームページ <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php> で公開しています。

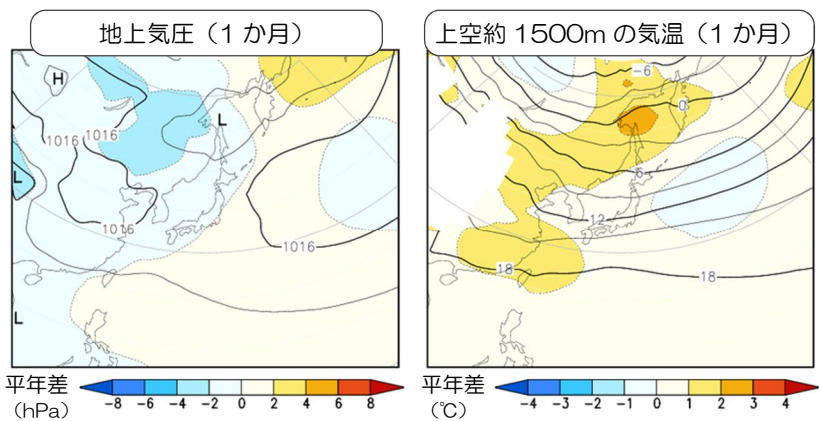
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。



数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、本州付近は低い所が多くなっていますが、平年との隔たりは小さい予測となっています。日本の南海上では高い予測となっています。

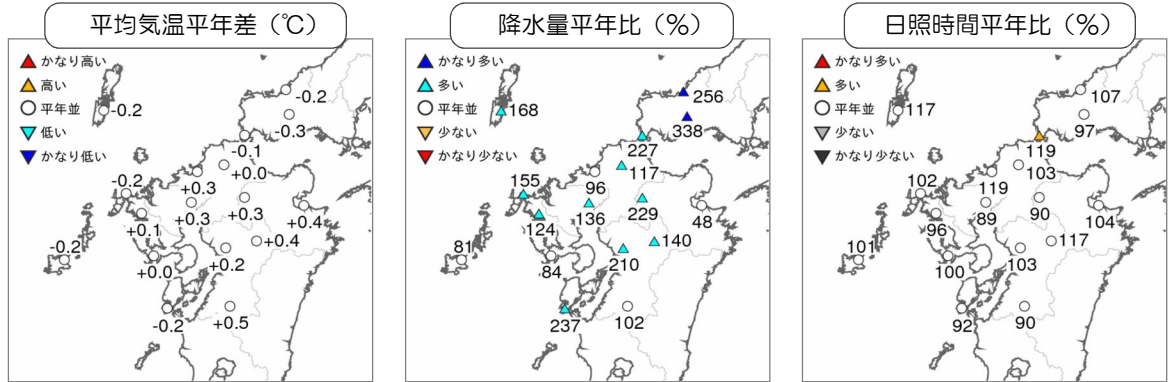
上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近は日本の東海上を除いて全体的に高く、オホーツク海や沖縄・奄美で特に高い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 9/7~13

低気圧や前線の影響で 7 日と 11 日から 12 日にかけて曇りや雨となり、大雨となったところもありました。その他の日は高気圧に覆われ晴れたところが多くなりました。1 週間平均の気温は平年並、この期間の降水量は多く、日照時間は平年並でした。



(実況) 9/7~13	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
九州北部地方	+0.1℃ (平年並)	162% (多い)	103% (平年並)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
九州北部地方	平年差: -0.4~+0.2℃	平年比: 74~129%	平年比: 95~107%
福岡	21.6~22.3℃	97.5~153.4mm	141.6~161.4 時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
九州北部地方	平年差: -0.6~+0.6℃	平年差: -0.6~+0.3℃	平年差: -0.4~+0.3℃
福岡	23.2~24.4℃	22.1~23.0℃	20.4~21.3℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
福岡	15.9 日	7.5 日	3.8 日	2.2 日	3.9 日	2.1 日	8.2 日	3.2 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1 mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率	(低い (少ない): 平年並: 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	(20 : 40 : 40)	高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	(40 : 40 : 20)	低い (少ない) 見込み